

平成17年度 第6回 役員会議事要録

日 時 平成17年7月19日(火) 13:30~14:30

場 所 北方キャンパス本館 E701 会議室

出席者 阿南理事長、矢田副理事長(学長)、重淵理事、出口理事、棚次理事(副学長)、
国武理事(副学長)、羽田野理事(事務局長)、
丸山次長、熊埜御堂参事、経営企画課長、経営企画室主幹、総務課長、管理課長

配布資料

- 1 会議のスケジュール
- 2 教育研究審議会の審議経過
- 3 第8回教育研究審議会 審議資料
- 4 第9回教育研究審議会 審議資料
- 5 採用・昇任関連資料

報告

(1) 日程について

・各課題項目の作業スケジュール(案)について了承

(質問なし)

(2) 教育研究審議会の経過報告について

・教員の採用・昇任について

- 教授待ちが多いゆえ良い助教授が学外に出やすい。外部からも教授として取りづらい。これを是正するため、教授枠を広げた。
- 12名の人事をやっている。条件を満たせば自動で昇任するのではない。厳しい評価、量的規制から質的規制へ変更した。

・留学生について

- 留学生の授業料6,000万円の減免とは、対象は何人くらいか。
○ほぼ全員。219人。97%が減免申請している。半額減免されている。
- 健康保険補助を受けているのは何割か。
○9割ほど。10数名は、保険料の補助もいらないということで申請が出ていない。9割の学生は、一人当たり21,000円の補助の申請が出ている。
- これだと、自己負担が3,000円ほどになる。それもしたくないという学生は、特に卒業間近の学生が90%くらいだ。国立大学では、こういう制度はやれない。組織上難しい面がある。

- 留学生支援をしている「日本のお母さん」は何人くらいいるのか。
- 40人くらい。小倉南区の「フォーラムこくら南」のボランティアの方の登録が40人くらい。精神的なサポートをしている。10年前くらいからやっている。
- ボランティアの大きな母体があるのか。
- 母体というような形は大きくないが、小倉南区役所の職員の方だとか、地元の公民館活動をされているお母さん方が、公民館活動を通してネットワークを広げられたと聞いている。
- 北九大の関係者や地域の周辺の方で、そういうこと（日本のお母さん）が組織されるのは非常にいいことである。
- ひびきのの方は。
- 別組織がある。「ボランティアひびきの」は、やはり地域のお母さん方に集まっていたいている。教員の奥様方もメンバーに入っていたいている。心のケアをしている。
- メンバーは何人くらいか。
- 20人ほど。地域の距離もあって、北方の方で同一団体にできなかった。
- 留学生も地元のお祭りに参加したりしている。お互いいい結果が生まれるようだ。

その他

・ 共通教育センター構想について

(矢田学長 資料説明)

- 他の大学などと一緒にやろうという学外も含めて共通教育センター構想を考えているのか。
- 共通教育センターで責任主体をはっきりさせ、問題によっては、他の大学と連携して。一般的に情報処理や語学教育のように少人数教育を行うものと違い、憲法など人間としてしっかりやらないといけないもの場合は、他大学の学生も一緒に200人くらいでも授業可能。
- 独立行政法人化した場合、他の大学と教員の費用負担は簡単にできるのか。
- 技術的にはかなり詰めないといけない。法的には十分できる。
- 現在は、他の大学とお互いに非常勤講師のやり取りをしている。これを組織的にできないか検討している。それができればお金の流れなども整理できる。
- 一般教養に加えてぜひ体育を入れてほしい。体育は選択科目になっている。50%ほどしか選択していないと聞いている。きちんと規律とかマナーを教える時間を持たせた方がいい。体育を必修にしてほしい。
- 本学でも、平成18年度に（(仮称) 共通教育センターに）移る先生を固めて、カリキュラムを検討し、教養教育とは何なのかを考える。そして平成19年度から北九大で新しいカリキュラムで流していく。そのとき他の大学も一緒にやれるかはこれから話し合う。
- 共通教育センターの専任教員は何人くらいになるのか。
- まだ決まってはないが、構想としては、10人以上20人近く。特に語学は、クラス別授業をやらないといけない。少なくとも15人以上はと考えている。今後、カリキュラムのあり方を検討していく。

・専門職大学院について

- 大学を卒業して就職ばかりが能ではない。今からは独立し、公認会計士の試験を受けるとか司法試験を受けるという道もある。こういう道もあるということを学生に方向を示すことが必要になる。先生方も広い視野を持っていただきたい。
- これからの社会人教育は、プロジェクトマネジメントを取り入れていただきたい。学生は無理だが、一度社会に出て中堅以上の人に。伝統的に教えられたことをやっていたのは、今の世の中にまったく間に合わない、全然方向違いのことをやっていて日本中いたるところで大変な状況になっている。一方ではプロダクトマネジメントをやるし、一方では新しい時代に即応したプロジェクトマネジメントを取り入れていただきたい。
- 専門職大学院は、どれだけ実務に強い先生を集めるかが大事になってくる。
- この大学がどのような人物に育てていくのか。北九州市立大学としての特徴を出していくには、どのような人物を育てたいということが明確に反映してくることが大事。それを計画にも反映させる。産業界もいろんな話が可能になる。このような動きが北九大に現れたのは大変いいこと。